

參考資料

委員名簿①（仮称）第3次都心まちづくり計画検討会

区分	専門	氏名(敬称略)	所属等
学識	都市計画、 脱炭素まちづくり	座長 村木 美貴	千葉大学大学院 工学研究院 教授
	造園	愛甲 哲也	北海道大学大学院 農学研究院 教授
	観光	池ノ上 真一	北海商科大学 商学部 観光産業学科 教授
	都市計画 建築計画	小篠 隆生	北海道大学大学院 工学研究院 非常勤講師 (一社)新渡戸遠友リビングラボ 理事長
	地域コミュニティ	片山 めぐみ	札幌市立大学 デザイン学部 准教授
	交通	高野 伸栄	北海道大学大学院 工学研究院 土木工学部門 教授
民間	民間都市開発	東 幸治	三井不動産株式会社 北海道支店 支店長
	商業・経済	池田 光司	札幌商工会議所 総務委員会 委員長 池田食品株式会社 代表取締役社長
	民間都市開発	井上 俊幸	三菱地所株式会社 執行役員
	エリア マネジメント	内川 亜紀	札幌駅前通まちづくり株式会社 代表取締役社長
	都市政策 公民連携	榎本 拓真	Local Knowledge Platform合同会社 Executive Director 福岡地域戦略推進協議会 シニアフェロー 広島都心会議 ディレクター
	都市再生 都市開発	後藤 正也	独立行政法人都市再生機構 東日本都市再生本部 副本部長
	エリア マネジメント	島口 義弘	札幌大通まちづくり株式会社 代表取締役社長
	金融・経済	三浦 幹央(第1~4回) 酒井 武知(第5~6回)	株式会社日本政策投資銀行 北海道支店 次長
	都市・交通	渡邊 克仁	札幌商工会議所 都市・交通委員会 委員長 北都交通株式会社 代表取締役社長

(オブザーバー)

区分	専門	氏名(敬称略)	所属等
行政 機関	都市政策	草野 真一	北海道開発局 札幌開発建設部 都市圏道路担当次長
	都市政策	矢野 敦子	北海道石狩振興局地域創生部 部長

委員名簿② (仮称)第3次都心まちづくり計画検討会<第一部会>
居心地が良く歩きたくなる都心まちづくり検討部会

区分	専門	氏名(敬称略)	所属等
学識	交通	部会長 高野 伸栄	北海道大学 大学院工学研究院 土木工学部門教授
	造園	愛甲 哲也	北海道大学 大学院農学研究院 教授
	都市計画 建築計画	小篠 隆生	北海道大学 大学院工学研究院 非常勤講師 (一社)新渡戸遠友リビングラボ 理事長
民間	エリア マネジメント	内川 亜紀	札幌駅前通まちづくり株式会社 代表取締役社長
	都市再生 都市開発	大谷 英基(第1~3回) 興村 英樹(第4~5回)	(独)都市再生機構 東日本都市再生本部 北海道まちづくり支援事務所 所長
	エリア マネジメント	服部 彰治(第1~4回) 松岡 正治(第5回)	札幌大通まちづくり株式会社 取締役事業部長 札幌大通まちづくり株式会社 専務取締役
	エリアマネジ メント/ プレイ スメイキング	林 匡宏	(一社) さっぽろ下町づくり社 代表理事 (一社)SAPPORO PLACEMAKING LABO 代表理事
	都市・交通	渡邊 克仁	札幌商工会議所 都市・交通委員会 委員長 北都交通株式会社 代表取締役社長
関係 団体	交通	伊藤 隆裕	(一社)札幌ハイヤー協会 常務理事
	交通	井元 秀樹	札幌地区バス協会
	駐車場	遠藤 隆三	札幌駐車協会 会長 遠藤興産株式会社 取締役社長
	物流	長谷川 竜一	(一社)札幌地区トラック協会 特別積合せ部会 部会長 共通運送(株) 営業2部 次長

(オブザーバー)

区分	専門	氏名(敬称略)	所属等
行政 機関	都市政策	酒井 聡佑(第1~3回) 尾野 定巳(第4~5回)	国土交通省 北海道開発局 札幌開発建設部 都市圏道路計画課長
	都市政策	片井 浩太	国土交通省 北海道開発局 事業振興部 都市住宅課 計画・景観係長
	交通 物流	若杉 貴志	国土交通省 北海道運輸局 交通政策部 交通企画課長
	交通 物流	松本 憲一(第1~3回) 山本 裕幸(第4~5回)	国土交通省 北海道運輸局 交通政策部 環境・物流課長
	交通	葛西 直人(第1~3回) 上野 貴弘(第4~5回)	北海道警察本部 交通規制課 課長補佐

委員名簿③ (仮称)第3次都心まちづくり計画検討会<第二部会>
都心の脱炭素化に向けたエネルギー施策検討部会

区分	専門	氏名(敬称略)	所属等
学識	都市計画、 脱炭素まちづくり	部会長 村木 美貴	千葉大学大学院 工学研究院 教授
民間	エリア マネジメント	内川 亜紀	札幌駅前通まちづくり株式会社 代表取締役社長
	電気事業	奥山 善樹	北海道電力株式会社 販売推進部長
	ガス事業	金田 幸一郎	北海道ガス株式会社 執行役員 第一営業部長
	熱供給事業	近藤 清隆	株式会社北海道熱供給公社 代表取締役社長
	エリア マネジメント	島口 義弘(第1~3回) 松岡 正治(第4~5回)	札幌大通まちづくり株式会社 代表取締役社長 札幌大通まちづくり株式会社 専務取締役
	金融	関谷 俊介	株式会社北洋銀行 ソリューション部 副部長
	熱供給事業	高橋 淳	株式会社札幌エネルギー供給公社 代表取締役専務
	金融	中山 達揮(第1~3回) 天野 学(第4~5回)	株式会社日本政策投資銀行 北海道支店 企画調査課長
	商業・経済	藤井 将博	札幌商工会議所 住宅・不動産部会 副部会長

(オブザーバー)

区分	専門	氏名(敬称略)	所属等
行政 機関	都市政策	高峯 聡一郎(第1~3回) 犬飼 武(第4~5回)	国土交通省 都市局 市街地整備課 拠点整備事業推進官

資料2 市民・来街者等の意向把握

①市民・来街者アンケート調査

都心の利用実態並びに都心に対する評価・ニーズを利用者属性ごとに把握し、都心まちづくりの方向性を検討するため、以下の四つの属性ごとにアンケート調査を実施しました。

なお、調査A・Bについては、過年度に実施した市民意向調査の結果を踏まえ、都心を日常的に利用する機会の多い層を調査対象として実施しました。

〈調査概要〉

調査対象・回収数	調査方法	調査期間
調査A 都心ワーカー (勤め先が札幌都心にあり、週に4日以上都心を訪れる18歳～70歳の男女) 600件	web調査 :インターネット調査会社へ委託	令和6年(2024年)7月26日 ～令和6年(2024年)7月29日
調査B 高校生・大学生 (札幌市内の学校へ通う高校生・大学生) 480件	web調査 :市立高校・市内大学へ協力を依頼	令和6年(2024年)7月18日 ～令和6年(2024年)8月9日
調査C 道外からの来街者 (過去1年以内に札幌都心を訪れたことがある道外居住者) 600件	web調査 :インターネット調査会社へ委託	令和6年(2024年)7月26日 ～令和6年(2024年)7月30日
調査D 国外からの来街者 (札幌都心を旅行で訪れている外国人) 112件	対面調査 :時計台周辺、道庁前庭、大通公園西1～3丁目にて実施	令和6年(2024年)7月27日 ～令和6年(2024年)7月28日

(参考)令和3年度(2021年度) 都心まちづくりの今日的動向等に関する調査・研究業務
市民意向調査 調査概要

調査対象・回収数	調査方法	調査期間
札幌市民 (札幌市内に居住する18歳～80歳の男女) 1200件	web調査 :インターネット調査会社へ委託	令和3年(2021年)12月15日 ～令和3年(2021年)12月20日

②街頭調査

都心の魅力を把握するため、都心を実際に訪れている市民・来街者を対象に、「都心の魅力・お気に入り」について、聞き取りによる街頭調査を実施しました。

〈調査概要〉

調査対象・調査数	調査方法	調査場所	調査期間
調査E ワーカー、一般来街者 260名 (意見総数 518件)	対面調査	NTTアーバンネットビル	令和6年(2024年)9月19日(木)
		チ・カ・ホ憩いの空間	令和6年(2024年)10月14日(月・祝) 令和6年(2024年)10月15日(火)



③関係組織・団体との意見交換の実施

第3次都心まちづくり計画の推進に向けた仕組み・体制の検討材料とするため、関係組織・団体との対話を実施しました。

〈実施概要〉

実施月日		関係団体名
令和6年(2024年)	9月30日	札幌大通まちづくり株式会社
	12月20日	北海道次世代まちづくり協議会 (北海道アセットマネジメント株式会社企画開発委員会主催)
令和7年(2025年)	1月24日	札幌駅前通まちづくり株式会社
	1月27日	札幌大通まちづくり株式会社
	2月12日	札幌大通まちづくり株式会社
	7月25日	サツエキイーストまちづくり勉強会
令和8年(2026年)	1月13日	大通地区町内会連合会 三役会
	1月21日	創成イーストリンク 役員会
	1月22日	東地区連合町内会 役員会
	2月2日	道庁南エリア研究会
	2月3日	時計台周辺地区まちづくり協議会
	2月4日	中央地区連合町内会 役員会
	2月20日	東北地区連合町内会 役員会
	3月4日	一般社団法人北海道ビルディング協会
	3月5日	本府地区連合町内会 役員会
	3月16日	中島公園駅周辺地区まちづくり意見交換会

資料3 パブリックコメント

①実施概要

●募集期間

令和8年(2026年)1月9日～令和8年(2026年)2月9日

●資料配布・閲覧場所

- ・札幌市役所本庁舎5階 まちづくり政策局都心まちづくり推進室都心まちづくり課
- ・札幌市役所本庁舎2階 市政刊行物コーナー
- ・各区役所総務企画課(広聴係)
- ・まちづくりセンター(本府・中央、東北・東、大通・西、西創成、豊水、苗穂、桑園、鉄西、鉄東)

●意見の内訳

- ・意見提出者数 7人
- ・意見提出件数 12件

●意見内容の内訳

主な意見内容	件数	構成比
「第3次都心まちづくり計画(案)」全体に対する意見	0件	0%
序章 計画策定の背景	0件	0%
第1章 計画の目的と位置付け	0件	0%
第2章 現状と課題	0件	0%
第3章 理念・目標と都心の構造	1件	8%
第4章 取組の方向	10件	83%
第5章 重点的に進める取組	1件	8%
第6章 取組の進め方	0件	0%
合 計	12件	100%

※ 構成比の算出は四捨五入しているため、合計値とその内訳の累計値とは一致しない場合があります

②パブリックコメント(意見)の概要とそれに対する札幌市の考え方

「第3章 理念・目標と都心の構造」に関すること

No.	該当ページ	意見の概要	札幌市の考え方
1	46	北海道大学周辺まで交流拠点を広げるべきである。	北海道大学周辺については、都心周辺の高次機能交流拠点として、都心との連携を強化していく方針です。

「第4章 取組の方向」に関すること

No.	該当ページ	意見の概要	札幌市の考え方
2	56	宿泊施設整備やMICE誘致にあたり、IR(カジノ)を含まないことを明記すべきである。また、行政が行うホテル整備支援は富裕層向けよりもバリアフリー対応を重視すべきである。	本計画における宿泊施設的环境充実やMICEの推進は、都心に必要な高次都市機能の集積を図るものであり、IR(統合型リゾート)の整備を前提としたものではありません。また、宿泊施設の整備にあたっては、本計画の「誰もが快適に過ごせる環境の整備」の方針に基づき、バリアフリー化やユニバーサルデザインの導入を引き続き促進してまいります。
3	57	「エンターテインメントなどを楽しむことができる都心ならではの施設」や「ナイトタイムエコノミー」の推進にあたり、IR(カジノ)や風俗産業を含まないことを明記すべきである。	本計画で掲げる「エンターテインメント」や「ナイトタイムエコノミー」は、文化芸術、スポーツ、食、夜間観光など、札幌ならではの都市活動や魅力的なコンテンツの創出による経済活性化を意図したものであり、ご指摘のような特定の業種を想定したものではありません。引き続き、市民や来街者が安心して楽しめる健全なにぎわいの創出に取り組んでまいります。
4	—	「都心への機能集約」や「高度利用」という基本的な方向性に強く賛同するが、都心部の再開発促進のため、高さ規制撤廃等の大胆な規制緩和や、地下・屋内動線拡充の義務化など、より実効性の高いインセンティブ設計を行うべきである。	都心における高次都市機能の集積に向けては、「都心における開発誘導方針」等に基づき、容積率緩和などのインセンティブを講じています。追加施策については、今後中期アクションプログラムを策定する中で、都市計画マスタープラン等の上位計画と整合を図りながら、良好な景観形成や周辺環境との調和も考慮し、検討してまいります。
5	75	自転車通行空間の確保について、現状の矢羽根型路面表示だけでなく、山形市のようにゴム製のポールなどで車道と明確に区別すべき。	札幌市は積雪寒冷地であり、冬期間における除雪作業の支障となることから、車道と路肩の間に連続してポールを設置することは難しいと考えておりますが、路上駐車抑制や荷さばき駐車車両の対策、さらには車道幅員構成や車線数の見直しによる道路空間の再配分の可能性を検討することにより、自転車が通行しやすい道路空間の確保に取り組んでまいります。

No.	該当ページ	意見の概要	札幌市の考え方
6	75	健康増進や医療費抑制などの広い視点から自転車利用を積極的に後押しするため、利用しやすい駐輪環境を整えてほしい。	本市としましても自転車利用を促進することは重要と考えております。そのため、本計画や札幌市自転車活用推進計画等に基づき、需要に応じた駐輪場の整備やまちづくりと連携した駐輪場の整備などの総合的な駐輪対策を推進してまいります。
7	78 80	歩行空間の連続性の確保や自動車の速度制限など、歩行者優先の交通政策を進めてほしい。また、バスの便数の確保やそのための運転手不足の解消、利用しやすい料金設定など、公共交通の利用促進や利便性向上につながる取組を進めてほしい。歩行者優先の交通施策を推進してほしい。また、公共交通機関の利便性を向上してほしい。	本計画等に基づき、季節や天候、目的等によって選択性が高い歩行空間を創出するとともに、安全・安心かつ円滑な歩行者動線の充実を図ってまいります。また、公共交通に関しては、本計画や関連計画等に基づき、面的なネットワークの維持や交通結節点の強化など、持続可能な公共交通ネットワークを構築してまいります。
8	81	来街者が自由に利用できる空間を作る際には、マナーのない利用者による問題が発生しないように設えの工夫や警備員の巡回などの対策も合わせて検討してほしい。	公開空地等のオープンスペースの整備にあたっては、これまでの事例等を踏まえ、多くの利用者が快適に過ごせるよう、施設管理者と連携しながら設えや運営管理体制を検討してまいります。
9	95	太陽光発電設備は、電気に変換できなかったエネルギーを排熱として周囲に放出することから、導入拡大に懸念がある。	太陽光発電は、太陽の光エネルギーを直接電気エネルギーに変換するクリーンなエネルギー源であり、脱炭素化に有効な手法であると認識しております。
10	105	大雪で交通がまひしないよう、除排雪の実施や公共交通の維持など、市民生活の足を守る施策を徹底してほしい。	冬期間の円滑な交通確保や公共交通の維持は都心においても重要課題であり、関連する各計画や事業者と連携して取り組んでまいります。
11	107	制振構造を構成する部材について、過去に製造業者による検査データの改ざんを行った事例があり、採用することに懸念がある。	製造業者による不適切な行為はあってはならないものですが、制振構造は地震による揺れを吸収・抑制するうえで有効な手法の一つと考えております。

「第5章 重点的に進める取組」に関すること

No.	該当ページ	意見の概要	札幌市の考え方
12	—	エネルギー系の提案は賛成で、進めたほうがいい。主に第5章に関して「札幌都心にあるべきコンセプト」として、「リトル東京」化を避け、公園都市としての緑の景観、「文化創造と人材育成」や「食」の魅力、インバウンド対応など、札幌独自の個性を強化すべきである。	本計画では「札幌らしさ」の強調を掲げ、「ひと・ゆき・みどり」をキーワードに、みどり豊かな空間形成や、食・文化などの地域資源を活かした魅力づくりを進めることとしています。ご提案いただいた視点も踏まえ、他都市にはない札幌ならではの都市ブランド力の強化に取り組んでまいります。